

一般質問から

にわたり、8議員から
質問が展開されました。



▲榊崎寺周辺

榊崎寺周辺に国宝等の展示施設を！



等 議員
塩田 議員

問 足利観光誘客戦略会議の提言の中に、「鑿阿寺から榊崎寺に至る足利氏ゆかりの寺社と連続した観光コースの整備」とあるが、これは大変有効であると考える。宝物展示の施設を榊崎寺周辺に設置することによって、さらに市内観光の回遊性を高めれば、滞留型観光への転換の一助になると思うがどうか。

市長・政策推進部長 鑿阿寺と榊崎寺を結びつけて、いわゆるストーリー性を持たせるといふ視点は、大変重要であると思う。観光誘客戦略会議の提言、議員や市民の皆様の見等を参考にしながら、今後議論を進めていきたい。

問 本市児童生徒の学力について、現状はどうか。また、ゆとり教育からの転換によって、本市の学力向上はどうなったのか。今後の本市の学力向上策について聞きたい。

教育長 基礎的な知識・技能の習得については全国とほぼ同水準と見られるものの、思考力・表現力等の育成はやや課題が見られる。英語におけるコミュニケーション能力や学力を伸ばす要因としての「学習に取り組む意欲」については全国に比べ高い傾向にあると捉えている。

ゆとり教育からの転換は、現行の学習指導要領が小学校では平成23年度、中学校では平成24年度から全面实施されているため実施期間が短いことや、調査対象となる児童生徒が毎年度に変わるなどから、学力向上の検証は難しいものと考えている。

今後の学力向上策としては、授業研究会を通じての指導法改善の研究やクラスを分けての少人数指導によるきめ細やかな指導などの充実に努めていきたいと考えている。また、現在取りまとめを行っている「今後の学力向上のための提言」の中で、生活リズムを整えるといった生活習

慣の改善や家庭学習の推進など、学校と家庭・地域が一体となった取り組みを進めていきたい。

**超高齢社会の中
高齢者等の重層的な見守り体制を！**



悦子 議員
富永 議員

問 本市においても高齢化率が上昇し、認知症が増加している。高齢者等の見守り体制として、行政とライフライン事業者等で連携した見守りに関する協定を締結することが、市民の安心安全につながると考えるがどうか。

福祉部長 現在、栃木県で実施している栃木県孤立死防止見守り事業「こちまる見守りネット」において、見守りに関する協定が締結され、足利市全域では東京電力や栃木県LPガス協会など7事業者が見守り活動を実施している。また、本市においては、平成25年2月に足利市高齢者見守りネットワーク連絡会を設置しており、見守りに関するリーフレットを市内全世帯に配布し、高齢者の異変等に気づいたら市や地域包括支援センターに通報を願う等の啓発活動を行っている。これらを踏まえ、本市の高齢者の見守りに関する取り組み全体の中で、総合的に判断したいと考える。

一般質問の主な項目

(質問順)

塩田 等 議員

- 市政運営の課題について
- ・ 新副市長としての所見
- ・ 今後の市政運営
- ・ 本市の活性化

○ 観光振興について

- ・ 観光施設の再構築
- ・ 滞留型観光への転換
- ・ 国宝等の展示施設
- 教育行政について
- ・ 教育委員会の改革
- ・ 小中学生の学力向上
- ・ 学校施設の整備計画

富永 悦子 議員

- 高齢者等の見守りについて
- ・ 高齢者等の見守り体制の拡充・推進
- 自他の健康の保持増進を図ること
- ・ ができる教育について
- ・ 小中学校の保健教育で健康と命の大切さを学ぶ
- ・ 着衣水泳の講習

○ 子育て支援の充実について

- ・ 放課後児童クラブ利用料の減免
- ・ 放課後児童クラブの長期休業預かり制度の拡充
- 市内の公園の整備状況について
- ・ 河南地域の公園にウォーキングコースの整備
- ・ 憩の森の整備

市政について

12月9・10日の2日間
質疑にあわせて一般

問 市民が楽しくウォーキングをすることは、健康づくりに役立つと考える。現在のウォーキングコースの整備状況と河南地域の公園にウォーキングコースを整備することができないか聞きたい。



都市建設部長 市内には、総合運動場、西部複合施設、さいこうふれあいセンター、五十部運動公園の4箇所にウォーキングコースを整備している。また、河南地域の公園へのウォーキングコース整備については、既に各公園に遊具施設や野球場が効率的に配置され、その中にウォーキングコースを新たに整備することは困難であると考えられる。しかし、山辺西部第一土地区画整理事業地区内に

において新規の公園を整備する計画があることから、その中でウォーキングコースの整備を検討していきたいと考える。

経済活性化策について問う！



平塚 茂 議員

問 市長が就任して以来、市民が第一に希望する政策は市の経済活性化策であると思う。具体的にどのような活性化策を進めていくのか。また、企業誘致は既設工業用地の有効活用を図り推進すべきと考えるかどうか。

市長 足利再生の第1のキーワードに、「産業の再生」を掲げた。その柱となる企業誘致については、10月に専門組織を立ち上げ、生きのいい企業の誘致や新たな産業団地の開発を鋭意進めているところである。そして、11月には産業と観光を結び付けた「映像のまち」構想を発表した。この構想が具現化していくことで、新たな産業が芽生え、本市の経済の活性化に大きな活路を見い出せるものと確信をしている。また、既設工業用地の活用については、大きな産業団地の造成には諸手続きやプロセスがあり時間がかかるので、空いている土地や工場の跡地をうまく利用してもらいながら、いい企業に来てもらいたいとかねてから考え

ているところである。

問 平和な日本が永遠に続くために、小中学校で平和教育をしっかりと行うことが大切と思うが、どのように取り組んでいるのか。また、原爆の非人道性を学ぶために、広島市の平和記念式典に中学生を派遣してはどうか。

教育長 本市の平和教育の現状については、小学校社会科や中学校社会科の公民的分野で戦争の悲惨さや平和主義の大切さを学習している。また、中学生の平和記念式典への派遣については、平和を願う心情を育てる上で大切なことと考えているので、検討していきたい。



▲平和記念式典（広島市）の様子

斎場の段差解消を早急に！



大島 綾 議員

問 高齢化社会の進展に伴い、日常生活の中でバリアフリー化が欠かせないものになってきている。段差が多い本市の斎場においても早急に段差解消をすべきと思うがどうか。

平塚 茂 議員

- 市長の政治姿勢について
- ・経済活性化策及び行政改革
- ・人口減に対する施策
- 教育行政について
- ・民主主義教育
- ・幸福な生涯を送るための教育
- ・平和教育

大島 綾 議員

- 空き家対策について
- ・空き家等の安全な管理に関する条例
- ・空き家バンク事業
- 斎場の施設整備について
- ・斎場のバリアフリー化
- 都市計画図について
- ・都市計画情報提供システムの導入
- 金子 裕美 議員
- 福祉行政について
- ・医療制度
- ・闘病支援制度
- ・女性特有の病気
- ・こども医療費助成制度
- 子育て支援対策について
- ・学校と児童保育の危機管理
- 広報事業について
- ・LINEのパブリックアカウントの活用

